

目標達成計画

事業所名 ワルーフホム その他
 作成日: 平成 23 年 9 月 20 日

別紙2

目標達成計画は、評価結果をもとに事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、次のステップへ向けて取り組んでいく目標を具体的に設定し、記入します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の質向上をめざして優先して取り組む点を話し合います。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自主防災について地域のみならず考えていく。	運営推進会議で民生委員、町内会長、地域包括センターの、老人会長の意見を聞く。	運営推進会議のみの電話番号を聞き、地域の自主防災の中に「その他」もくわえていく。	3 か月
2	10	事業所が抱えている問題と家族の力に伝える。問題を共有し、意見などを表わせる機会をつくる。 転倒、転落の危険度について。	転倒、転落アセスメントスコアシートを作成する。	重要事項説明書に環境の変化と体力低下、加齢に伴う認識や運動能力の低下や加齢による転倒、転落を招く事がある事を家族に説明し、入居時に家族に説明し、転倒、転落アセスメントスコアシートをチェックし、危険度と評価とする。	5 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入してください。